

エネルギー自給による

環境にやさしいまちづくり始動!

和寒町では、再生可能エネルギーである間伐材などの森林資源を有効に活用して、地球温暖化対策や新たな雇用の創出をめざし、地域資源の地域内循環システム「環境にやさしいまちづくり」の準備を進めてきました。この計画の基本施設である「木質バイオマス燃料製造施設」「熱源供給施設」の工事請負契約について、11月19日開催の第6回町議会臨時会で議決され着工となりましたのでお知らせします。

森林資源の地域内循環システム ～ 木質チップを利用した暖房システム

森林整備

町有林1,050haから発生する
間伐材、皆伐の林地残材等



木質バイオマス燃料製造施設

木質チップの製造



原料投入



製造施設は旧和寒中学校第2体育館
を活用し、周辺には、トラック搬入
施設、原木堆積場が整備されます



チップとは
木材を機械的に小片化
したものです。

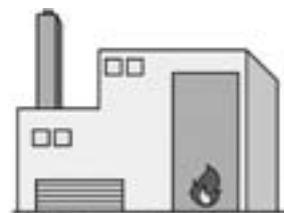


チップ製造設備
木材を破碎しチップ
を作ります。



熱源供給施設

役場総合庁舎南側に建設
木質チップを原料としたボイラー
を設置します。



熱源供給施設



ボイラーで作られたお湯を
地中配管で各施設へ

暖房用熱源を供給

熱源を供給する3施設
役場総合庁舎(消防支署含む)
保健福祉センター
町立図書館

地域内循環

森林資源を地域内で活用することが地球温暖化対策や雇用の創出、産業の活性化につながります

地球温暖化対策

木質チップ製造等による
地域内循環へ

雇用の創出

林業活性化

これまで施設で使用していた化石燃料（灯油、A重油）年間約1,000万円の「お金」と「雇用」を地域で循環

【木質バイオマス燃料製造施設整備】

町有林の間伐材などの森林資源から木質チップを製造する施設で、新しい雇用の創出を図るものです。

施設の概要

●木質バイオマス燃料製造施設

- ◇構造 鉄骨造平屋建て
504㎡ (既存体育館の改修)
- ◇設備 チップ製造設備
※木材を破砕する機械
- ◇外構 原木堆積場整備

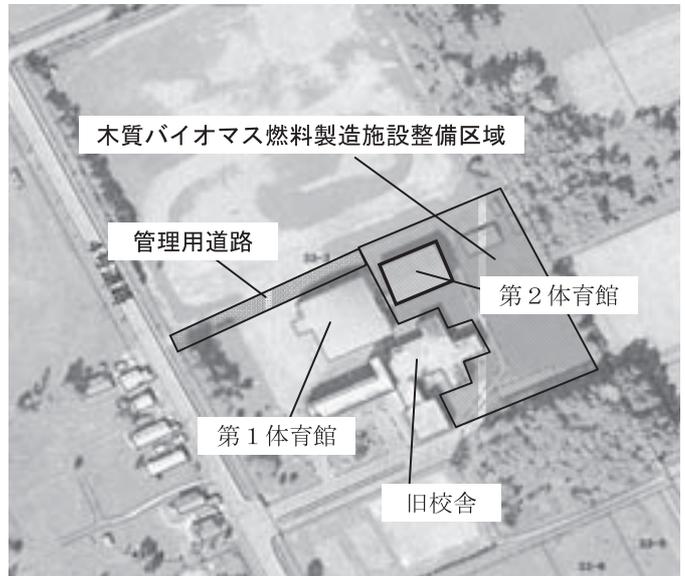
●トラックスケール施設

- ◇構造 鉄骨造平屋建て
※木材の量を搬入してきた車両と一緒に計量する施設

- ◇場所 旧中学校敷地内
製造工場：第2体育館
原木堆積場：第2体育館東側

※年間で当初400 tのチップを製造します。

旧中学校位置図



【熱源供給施設整備】

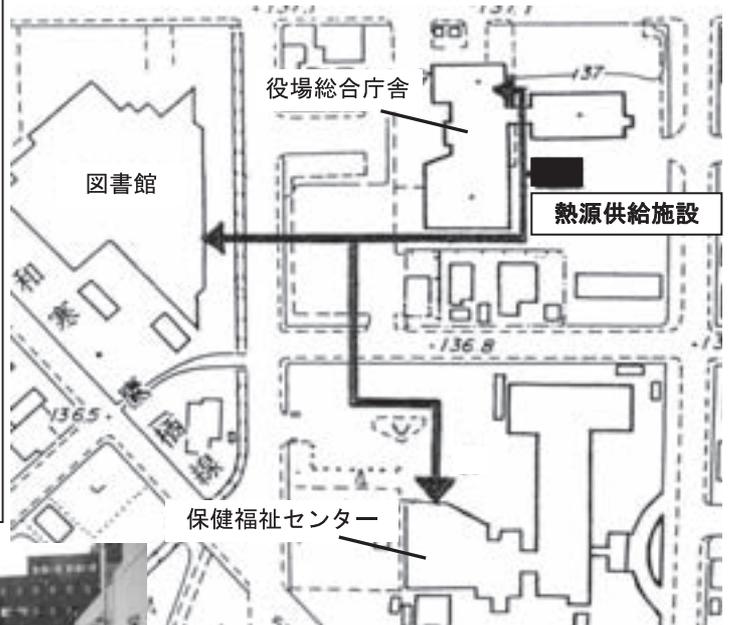
森林資源で造った木質チップを原料として、公共施設に暖房用のお湯を供給する施設です。

3施設の灯油、A重油などの燃料代は毎年約1千万円かかっていますが、これを木質チップに替えることにより、お金の地域内循環をめざすものです。

施設の概要

- ◇施設 ボイラー棟1棟新設
鉄筋コンクリート造 平屋建て
118.89㎡
(幅7.9m×奥行13.4m×高さ6.4m)
- ◇設備 木質チップボイラー
最大出力 700kw
※最大燃焼時で灯油約73 l/hの燃焼と同等のエネルギーとなります。
チップサイロ
貯蔵量100㎡(約20t)
※最大燃焼時で約一週間分のチップを貯蔵できます。
地中配管 IP管 延長=875.3m
※IP管～保温効果に優れ、温泉引湯などに使われる配管で3施設へ暖房用のお湯を送るために地中に埋設します。
- ◇場所 役場総合庁舎南側

チップボイラーで作られたお湯を役場総合庁舎、保健福祉センター、図書館へ地中配管をとおして送り暖房用熱源を確保します。



←熱源供給施設が建設される役場総合庁舎南側 現在、基礎工事が進められています。

今後広報では、工事の進捗状況や各施設の詳しいしくみなどについて掲載していきます。